

## ポスターデザインとコピー



コピー

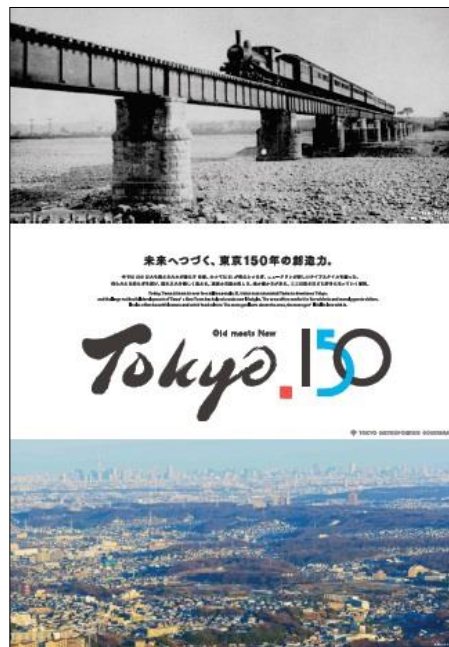


明治、大正、昭和、そして平成。  
東京は今年で150周年。  
そこに息づくのは、  
伝統と新しい価値が会いながら、  
新しい時代を創り出してきたエネルギー  
その力は日本の中で、世界に向けて、  
どんな東京の未来を届けてくれるのだろう。

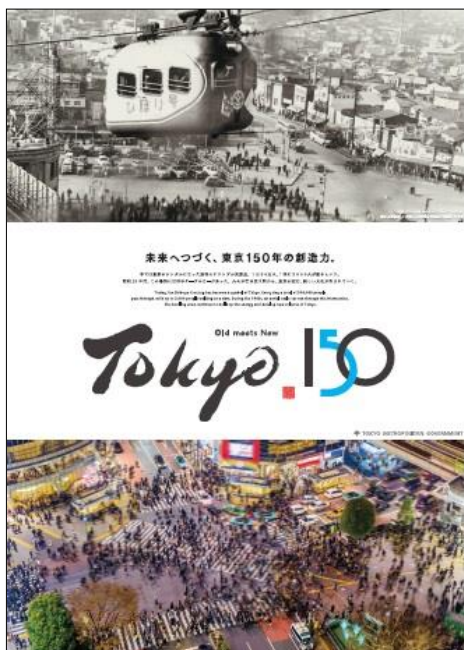
ここは隅田川、永代橋。東京は江戸の頃から  
水の都。交通と物流の要として、そして人々  
に楽しみと憩いをくれる場所として、いつも  
人々が集まり、活気にあふれていた。未来に  
向けて動き出す東京の水辺、今度はどんな賑  
わいを届けてくれるのか。



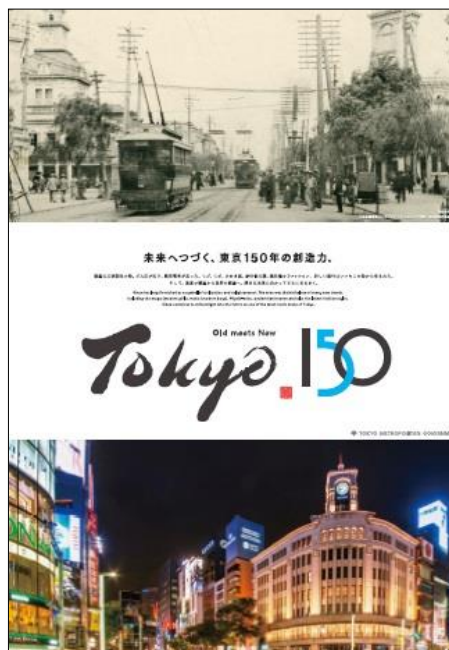
明治元年、江戸は東京と改められ、近代都市  
東京が誕生した。そのお祝いとして、「江戸」  
の町民に対して江戸城に滞在中の明治天皇  
から御酒が下された。  
それから150年。街並みや、人々の姿は変わ  
っても、東京の賑わいは変わることがない。



今では400万人を超える人々が暮らす多摩。  
かつてはSLが都心とつなぎ、ニュータウン  
が新しいライフスタイルを創った。  
住む人に安らぎを届け、訪れる人を優しく迎  
える、東京の自然の美しさ、食の豊かさがある。  
ここは知るほどに好きになっていく場  
所。



今では東京のシンボルになった渋谷スクランブル交差点。  
1日50万人、1回に3000人が渡るとい  
う。昭和20年代、この場所に空中ケーブル  
カーがあった。人々が行き交う所から、東京の活  
力、新しい文化が生まれていく。



銀座は文明開化の街。ガス灯が灯り、路面電  
車が走った。モガ、モボ、みゆき族、歩行者  
天国、最先端のファッション、新しい流行は  
いつもこの街から生まれた。  
そして、東京の銀座から世界の銀座へ。輝き  
は未来に向かってさらにきらめく。



凌雲閣は明治の頃に浅草にあった展望台。日  
本初のエレベーターが設置された。まさに明  
治の下町のランドマーク。  
それから1世紀以上の時を超えて生まれたの  
が東京スカイツリー。新しい東京のシンボル  
が、下町の魅力を世界に発信している。



江戸時代から継承されている江戸東京野菜。  
東京の島々が届ける新鮮な海の幸。東京は食  
の都。  
独自の食文化がこの街で生まれ、世界中の料  
理がこの街で磨かれる。今日も伝統と革新が  
出会いながら、新しい食の楽しさを創りだし  
ている。



明治に入ると女性たちは和装の中に洋装を取り入れ、新しい装いで街を歩き始めた。いつの時代も、しなやかな発想で自分らしさを表現してきた東京の女性たち。そんな一人ひとりの生き方から、最先端の東京ファッションが生まれていく。



明治に入ると人力車が道を行き交い、人々の活気が街を包み込んだ。交通の発展は、都市に新しい活力を届けてくれる。今、都バスでは水素を使った燃料電池バスが日本で初めて運行開始。未来の都市交通が、もう動き始めている。



400年の歴史が育ててきた江戸の伝統工芸。匠の技は人から人へと引き継がれ、人々の暮らしの中に息づきながら、立ち止まることなく磨かれてきた。そして今、伝統の技が新しい洗練を手にして、世界が認める東京発のブランドへ。